

長崎市における斜面市街地のモビリティに関する基礎的研究

(株)池田設計 正会員 池田 菜由子
 横浜国立大学 正会員 中村 文彦
 横浜国立大学 正会員 岡村 敏之
 横浜国立大学 正会員 矢部 努

1. 研究の背景と目的

斜面市街地におけるモビリティの低さは、居住者の高齢化の進行に伴って、深刻な問題となっている。特に斜面市街地に広がる階段道や狭あい道路については、改善が困難な場合が多い。一方で居住者の行動実態や将来への意識に関する分析も十分ではなく、実現可能な施策の検討のための基礎資料も不足している。このような背景をもとに、本研究では、斜面市街地が特に多い長崎市を対象とし、主にアンケート調査により、居住者の交通行動の現状把握と意識の実態の分析を通して、行政と地域(市民および企業)が連携して、これまでの生活の知恵を活かしながら、モビリティと生活の質の向上に資する施策の方向性を提案することを目的とした。

2. アンケート調査の概要

狭あい道路を有する斜面市街地の住民を対象として、生活行動に対する実態、斜面に対する意識、移動頻度に対する実態、居住形態による行動属性の4点に着目してアンケート調査を行った。市役所および自治会の協力を得て、全体で798部を配布し、202部を回収した(回収率約25.3%)。

3. 調査結果

まず、図1に示したように、利用交通機関は、バス停までのアクセス徒歩時間によって異なってくる。バス停から15分以上かかる人たちはタクシーなどの自分で乗り場所を指定できるような交通機関に頼っている。逆にバス停から近い人ということは、幹線道路に近いという意味合いもあり、バス停に近くとも車を利用する人が多い。

また、図2からわかるように、乗り合いタクシー・小型バスを利用しているのは圧倒的に坂の上のほうの人たちである。図3からは、バス停・電停、つまり幹線道路に近いほど、乗り合いタクシーや

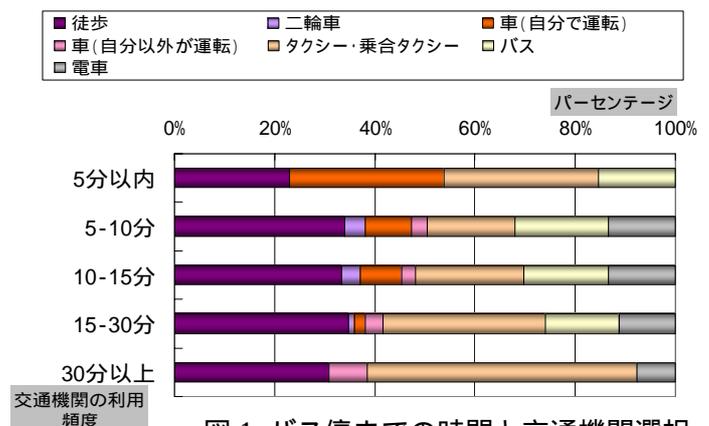


図1 バス停までの時間と交通機関選択

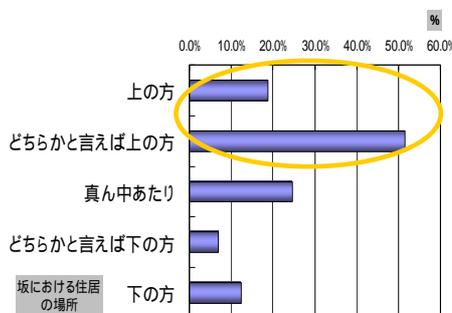


図2 乗合タクシーと小型バスの利用

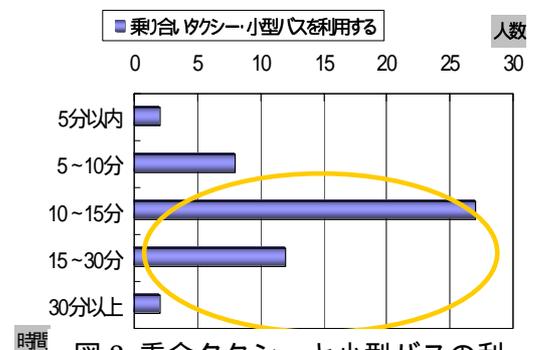


図3 乗合タクシーと小型バスの利用頻度とバス停・電停までの時間

キーワード：交通モビリティ，高齢化，斜面市街地

連絡先：〒852-8106 長崎市岩川町2-3 池田ビル5F (株)池田設計 TEL 095-844-0022 (代)

小型バスの利用率が高いことがわかる。さらに図4にあるように、斜面の上・下では特徴的な交通手段の利用があるが、中腹に関しては、突出した、交通手段が見られない。

このことから中腹へ対応した交通施策が不十分といえる。

4. 施策の現状と課題および方向性提案

行政施策と住民意識の関係の考察とし

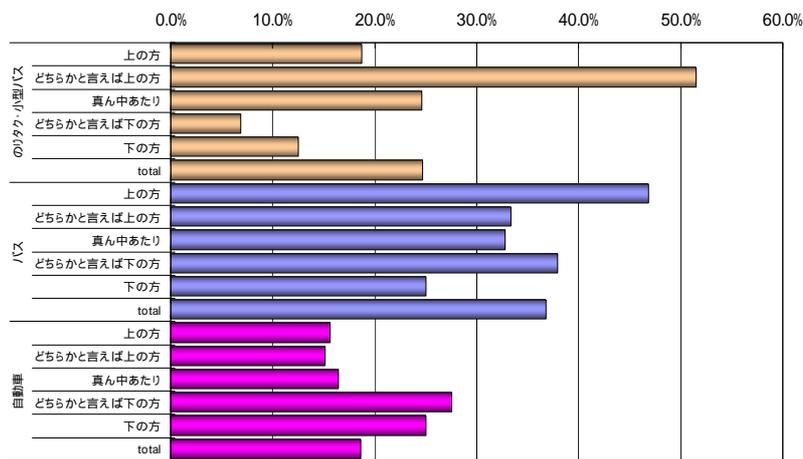


図4 バス・自動車・乗合タクシーと小型バスの関係性

では、行政が行っている斜面市街地交通モビリティ改善に関する施策は、斜面を線的にとらえた整備が中心となっている。(図1参照) それに対して、斜面の居住位置による外出時の交通手段の多様化や、居住位置・個人属性ごとのニーズが様々となっていることから、実際の政策と、住民の意識にずれがあることがわかった。

そこで、以上の考察を踏まえて、今後の長崎市における斜面市街地の交通モビリティ向上と、居住環境整備のための方針について、調査で設定した4つの観点別に、行政、市民、企業の3主体別の役割と方策について総括と提案を行った。(表1参照)



図5 長崎市における行政施策の現状

5. おわりに

斜面市街地居住者の意識としては、居住位置により異なる外出時の交通手段を利用しており、居住位置・個人属性毎のニーズは多様化している。つまり、実際の政策との住民の意識にずれがある。

そこで、長崎市の本来持つ魅力、また斜面の問題を市民が広く再確認することで、斜面全般としての方策ではなく、それぞれの地形、特性にあった方策を行政や企業、市民の視点にたって行うことが望まれる。

表1 行政、市民、企業のそれぞれの方向性

	行政からのアプローチ	企業からのアプローチ	市民からのアプローチ
生活行動の実態	市民の外出頻度向上・健康対策 市民のまちづくりへの参加により根本から斜面市街地を考える	福祉事業の活性化	郷土に対する関心を高める
斜面に対する意識	交通空白地帯対策 市民のまちづくりへの参加により根本から斜面市街地を考える		郷土に対する関心を高める
移動頻度に対する実態		コンビニエンスストアとの提携、商店街の活性化など 福祉事業の活性化 運送業界もしくは不動産業界の活性化	
居住行動による属性	土木工事などのインフラ 交通空白地帯対策	福祉事業の活性化	
その他		旅行代理店や宿泊業界など観光面での活性化	

参考文献

- 1) 平井信夫、清水智之：斜面市街地を有する港湾都市の地域特性と整備課題、日本沿岸域学会論文集、8、pp.91-103、1996.3
- 2) 平井信夫、小嶋勝衛：斜面地における人口特性と都市整備課題、日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.325-326、1995.8
- 3) 長崎市：第2次長崎市住環境整備方針策定調査報告書、2002.3
- 4) 長崎市：第2次長崎市住環境整備方針策定調査報告書資料編、2002.3